

食のデータサイエンス ティースト育成へ

麻布大

麻布大学(浅利昌男学長)は、生命・環境科学部食品生命科学科で、食のデータサイエンスティースト育成を強化すると10月28日発表した。食に関する深い知識や洞察力のもと、データの収

集や解析に必要な知識とスキルを身につけた人材を育成するという。2022年度からの教育実施を目指し、準備を進めるという。

従来同学科で実施していた「食の安全」、「食の健康」分野の教育・研究に、新たに「食の情報」分野を追加。微生物環境から栄養素の生体内代謝メカニズム、人の生活環境まで、幅広い視点から学ぶことのできる体系的学習プログラムを提供する。

数制の教育環境を活かし、数学関連の講座では、習熟度別クラスを採用する。教育体制は、学部・学科を越えて、全学的な協力のもとで整備していくという。

食のデータサイエンスティーストには、統計・数理(数学)、コンピュータ(IT)、食の科学に関する知識が必要とされる。具体的には、ビッグデータの解析に必要な統計関係の数学的知識、プログラミングや人工知能を活用できるコンピュータ関連の知識を養成されるカリキュラムを整備する。また同大学の特色である少人